

ちば里山新聞

(第5号)

編集 発行 ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

～ 里山活動団体と企業との協働による里山再生を促進 ～

ボランティアサポートシッププログラムの創設



ちば里山センターのホームページ：<http://www.chiba-satoyama.net/>

最近、企業の環境保全活動の実践の場として、里山を利用する機会が増えています。(関連記事2P) こうした中、ちば里山センターでは、企業と里山活動団体双方が力を合わせて里山の整備や活用を促進することを目的として「ボランティアサポートシッププログラム」を創設しました。このプログラムでは、地域において公益的な活動を展開している里山活動団体に対し、企業が社内ボランティアによる人的支援や団体の活動費の支援などを行うもので、企業にとっても、社会貢献活動の実践、レクリエーションやリフレッシュなど福利厚生を兼ねることができるなどのメリットがあります。今後、準備が整い次第、ホームページなどで参加する団体(千葉県里山条例に基づく協定の認定を受けている)や企業を募集することとしています。なお、選考については、ちば里山センターの運営委員会で行う予定です。

お知らせ
(仮称)里山ボランティア保険説明会の開催

- ◆平成18年2月12日(日) 午後1時から
- ◆千葉県教育会館新館501
- ◆主催:ちば里山センター

広まり、根付き始めた社員ボランティアと家族による里山活動！ ちば里山センターも活動支援

企業は、様々なかたちで環境保全活動を行っています。東京電力株式会社は、この7月から社会貢献活動の一環として当センターの業務を支援するため、嘱託職員1名を派遣しています。また、県内各地で活動を行っている会員の構成員の中にも企業に勤めていた方も数多くいて、現職時代に培った専門的知識を活かし、活動に役立てています。このような中で、最近、企業の社内ボランティアによる里山活動も盛んになってきました。今回は、こうした企業関連の里山活動の事例をいくつかご紹介します。

第1話 「成田里山づくりの会」

富士ゼロックス及び関連会社では、自ら植樹や里山づくりを体験することによって、自然や生態系への理解を深め、より積極的かつ自発的に環境保全活動に参画する社員の育成を目的に、里山保全活動を通じて自然の生態系を復元する活動を実施しています。

その一環として、成田市郊外で土地所有者の理解と協力もあって、里山条例に基づく知事認定の里山活動協定を結び、富士ゼロックス及び関連会社の社員とその家族約30名で構成される「成田里山づくりの会」を結成、すぎ溝腐れ病に冒された森を再生するため、下草刈りや林内整理などの森の手入れを毎月行っています。また、里山保全活動と合わせ、稲作やさつまいも、落花生の栽培など農作業も体験。地元で採れた季節の食材も食べながら家族ぐるみで楽しく活動を続けています。



第2話 「リコー千葉ふれあいの森づくり」

リコーグループは、多くの生き物と人類がこれからも共生していけることを目指しています。

その一環として全国各地で里山保全活動を進めており、千葉市郊外で行っているふれあいの森づくりは、子供が遊び親しめる雑木林づくりを目指したものです。

これは、千葉県里山条例に協力する形で2004年秋から毎月第3土曜日に社員が20名以上集まって、竹林を整備し、切った竹をアートクラフトや竹炭に活用したりしています。今後は果実や花をつける木を植えて生き物が集まれるような計画もあります。

これからも、地元の方達や県と連携し、より楽しい森づくりを目指しています。



第3話 日本航空グループの若手社員

日本航空グループ経営懇話会では、毎年「ヤング・グリーン・セミナー」の参加者のうち有志が、セミナーで経験した社会活動への参加を継続し、グループの輪を広げていくための活動を行っている。この一環として、去る10月22日(土)に全国から集合した20代の社員44名が、多古町の桜宮自然公園で、里山環境保護運動に参加しました。

この活動では、桜宮自然公園をつくる会、ちば環境情報センター、ちば里山センター しんのみ空間など多数の団体がサポートしました。



助成情報を知りたい・これは便利「千葉県NPO情報ネット」など

企業などの支援情報を集めるといっても、個々に集めることは容易ではありません。そんな時、千葉県NPO活動推進課が開設しているホームページ「千葉県NPO情報ネット」を利用すると便利です。当センターのホームページともリンクしているこのコーナーには、企業関係の基金や財団等が公募している助成情報が一覧で掲載されており、助成情報を迅速に収集できます。また、財団法人助成財団センターが開設しているホームページでは、国内の主立った財団が行っている助成情報などが掲載されています。

こうして集めた情報を手がかりに、応募することにより日頃の活動の成果を広く県内外にPRすることができるほか、活動の幅・質を高めることにも繋がりますので、是非挑戦してみましょう。

ただ今募集中！

名称等	助成対象等	締め切り等
宝ホールディングス(株) TaKaRa ハーモニスファンド 平成18年度(第21回)研究助成・活動助成 宝酒造環境ホームページ http://www.takarashuzo.co.jp/environment/	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の緑を構成する森林、木竹等の陸域の自然環境、または湖沼、河川等の水域の自然環境(水生生物等の生態把握等を含む)に関する実践的な研究・活動に対して助成 ◆助成金の使途:人件費以外の機材費、消耗品費、旅費、謝金等 	締め切り 18年3月末必着 申込書の送付先 〒600-8006 京都市下京区四条高倉東入立売中之町84 みずほ信託銀行(株) 京都支店 営業第2課 公益信託 TaKaRa ハーモニスファンド事務局 電話:075-211-5521
社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 第7回社会貢献基金助成 http://www.zengokyo.or.jp/	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護運動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動に対して助成他 ◆助成金の使途:事業に直接必要な経費 	募集期間 17年10月1日～ 18年2月末日必着 申込書の送付先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7F 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金助成公募 受付係 電話:03-3433-4415
パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム http://www.patagonia.com/japan/enviro/grants_app.shtml	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境の保護・回復を行っている草の根の環境グループに対して助成 ◆対象とならないグループ <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な環境啓蒙活動 ・科学的な研究 ・土地の購入 ・政治的キャンペーンなど 	締め切り 18年2月28日 申込書の送付先 〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町 1-13-12 本覚寺ビル パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム係 電話 0467-23-8961
コンサベーション・アライアンス・ジャパン アウトドア自然保護基金プログラム 2005年度後半期 http://www.ca-j.org/	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境保護の活動に直接行動するグループ ◆対象外 <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な調査(※環境問題を解決しようとする特定の行動を直接支援する調査は除く) ・ビデオやテレビなどのプロジェクト、土地の購入、政治的なキャンペーン ・一般的な教育活動 	締め切り 18年3月15日 申込書の送付先 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-12-12 (株)アライメント内 電話:042-944-5855

このほか、現在は応募を締め切っているため、本欄には掲載しませんが、毎年募集している財団や基金からの助成制度が多数ありますので、時期を逸さないようにホームページなどでこまめに確認してみてください。

千葉県NPO情報ネット <http://www.chiba-npo.jp/>

財団法人助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>

◆秋の里山だより

その1 里山の景観整備で地域おこし



養老溪谷ふるさとを守る会（正木 武会長）は、旅館のオーナーも加わり養老溪谷温泉街の商店の人たちが、訪れる観光客の皆さんに四季折々移り変わる木々や草花が織りなす色の変化、香りを堪能してもらおうと、カエデやサクラ、ツツジなど自生しているものを活かしながら森の手入れ作業に汗を流しています。

この会は、平成13年に大多喜町から町の振興策について意見を求められたことをきっかけに生まれました。

森の所有者の方々も、地元の人が活動を行っているという安心感から協力的で、平成17年3月には所有者との間で締結した活動協定が千葉県里山条例に基づく知事の認定を受けました。地元では人を捜す時、「今日は里山をやっているよ。」と言えば、何処にいるか分かるぐらい「里山」が定着しています。今後は、子どもたちも参加して一緒に森の手入れしてくれることを楽しみ



手入れが進み、紅葉が一段と映える養老溪谷

にしているメンバーもいます。

手入れされた森と心地よい風が川面を通りすぎる溪谷は、訪れた観光客の期待をきっと裏切らないと確信しました。



鮭の卵（多古町玉造堰付近）

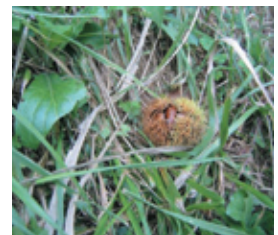
その2 魚道堰でサケがのぼってきた！

栗山川は、鮭が回帰する南限の川として知られています。この栗山川が流れる横芝町には、横芝堰と呼ばれる堰があり、そこから上流には遡上できませんでした。

しかし、今年、この堰に「魚道」が付けられたことにより、さらに上流の多古町の玉造堰辺りまでサケが遡上し、産卵しています。中にはこれより上流にある鮭の奉納で知られる「山倉神社」に通じる水路を目指しているものも見られました。少しでも自然の状態に戻そうという関係者の努力が今日も続いています。

その3 「食彩の王国」で多古町の山栗が活躍？

テレビ番組「食彩の王国」（テレビ朝日系列 毎土曜 午前9時55分から）は、日本人に馴染みの深い様々な食材に関わる番組。去る11月5日の番組では縄文時代から人との関わりが深い「山栗」。番組制作会社から古くから伝わる保存方法などについて知っている人がいる里山はないかと相談を受け、当センターでは多古町の桜宮自然公園を紹介しました。人の話では、保存方法は60代以上の農家の方でないと知っている人は少ないとのこと。



活躍した山栗



懐かしい焼き芋の煙の香りも一役？
（八日市場市・アルカディアの会）

その4 里山の煙で記憶が甦った！

八日市場市大寺で活動を展開している協定認定里山活動団体「アルカディアの会」（薄葉栄策会長）によると、先頃行われたイベントで、参加者用にと薪でご飯を炊いていたところ、長年、加齢に伴う症状のあった女性が、煙の匂いで突然記憶が甦り、その元気さに周囲も圧倒されたとのこと。森林療法関係者の話によると、「思い出療法」というのだそうです。

里山巡回相談実施中

森の手入れや活用の専門家による「里山巡回相談」が行われています。これは、ちば里山センターが相談業務の一環として、新たに認定里山活動協定を締結した団体を対象に行っているもので、県みどり推進課の職員と県森林研究センターの研究者も交え、現地診断のうえ、技術的悩みや団体の運営方法などの悩みを直接聞き、相談にのっています。これまでに6件現地訪問しました。

初心者向け 安全講習会

里山活動にとって最も大切なことは、「安全」。しかし、活動中はつい夢中になり忘れがち。そこで、希望団体を対象にチェンソーや伐採方法の現地研修を実施中です。



里山公開講座 きのこの森づくり

初心者にも分かりやすくをモットーに 千葉県森林研究センターで開催中

里山の森づくりには、基本的知識と実践するための技術が必要です。現在、里山の手入れや活用などに関する参考書は数多く出回っていますが、実践となると、案外迷うこともあります。当センターでは、社団法人千葉県緑化推進委員会の協力も得て千葉県森林研究センターで、同センターの研究員を講師に招き、来年2月まで4回シリーズで室内講義と野外実習を内容とした初心者向け公開講座を実施しています。昨年も同様なかたちで開催されたこの公開講座、今年は、一般に親しみやすい「きのこ」を題材に取り上げ、約40名の受講生が熱心に森づくりの基礎を学んでいます。



里山写真館



八日市場市 椎名 清氏 撮影提供

ちば里山センターのホームページ No.1に輝く?

2004年11月12日にスタートした当センターのホームページ。

皆様も応援もあり、アクセス数は17年12月10日現在11,605。ヤフーの検索で「里山センター」と入力してみると約69万1千件中、1番目に当センターの名前が画面に現れました。ちなみに「里山」だと約278万件中第18位。

これからも、引き続き皆さんの応援をお願いします。

各団体の里山イベント情報に関する記者募集中!

ちば里山センターでは、活動している皆さんのPRと一般の方への参加案内を兼ね、各地域で実施されるイベント情報を集め、ホームページで公開しています。是非ご一報をお願いします。

提供先 ちば里山センター事務局
メール: info@chiba-satoyama.net
FAX: 0438-60-1521
http://www.chiba-satoyama.net/

地元の町との連携を重視

「秋の里山の市」は「山武町民祭」と合同で開催

里山活動には、地元市町村の理解と協力を得ることも大切です。里山への関心や理解を深める機会となる「里山の市」では、このようなことを思い描きながら11月3日の「山武町民祭」に参加し、町民祭と同じ「さんぶの森公園」をメイン会場に、農林産物の展示・販売や、地元及び周辺地域の里山活動団体による展示、自然観察、1日活動体験など多彩な行事が開催されました。



里山活動協定の認定状況

千葉県里山条例に基づいて活動協定を知事が認定する制度は、土地所有者にとっては安心感を増すことに繋がり、一方里山活動団体も技術的支援や財政的支援を得られるなどのメリットがあるという認識が深まり、17年11月22日現在46件の協定が認定されました。なお、当センターでは、認定を後押しするため、「里山情報バンク」を開設中です。

「里山情報バンク」の利用が始まっている

自分では管理しきれないので、誰か森の手入れを手伝ってくれないかと考えている土地所有者。一方、何処か適当な活動場所はないかと探している里山活動団体。この両者のニーズを結びつけ、森林整備を促進することを目的に始まった「里山情報バンク」。これまでに17件登録され、既に2里山活動団体から斡旋依頼がありました。

講師曰く「メンバーの安全確保は、技術より危険予知能力の有無が左右する」

参加者募集中

指導者向け技術研修会のお知らせ

林業・木材製造業労働災害防止協会が発表している、平成17年分(平成17年10月31日現在)の林業労働災害(死亡災害)速報一覧によると、全国で死亡事故が41件発生。

野外作業では、ボランティアだからといって自然は手加減してくれません。当センターでは、現在ご活躍中の皆様には、安全で楽しく活動をモットーに安全研修会の開催などの支援を行っています。この一環として、右記のとおり現場経験の深い講師による「指導者向け」研修会を実施しますので、多数の参加をお待ちしています。

◆研修会その1

○開催日 1/16 1/23 1/24
1/30

○場 所 山武地域 ※プロの研修を見学し、安全作業の要点を学ぶ

◆研修会その2

○開催日 1/21 1/22

○場 所 安房郡和田町 ※指導者の心得、実習

★申込先

ちば里山センター

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148

電話：0438-62-8895 FAX：0438-60-1522

すべての機種を、省エネに。
すべてのオフィスに、省エネを。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

幅広いラインアップで省エネを進め、お客様先での環境負荷を低減。紙文書を効果的に減らす仕組みを提供し、さらなる省エネを実現。

富士ゼロックスは6年連続「省エネ大賞」受賞。

富士ゼロックス株式会社 <http://www.fujixerox.co.jp/> XEROX: THE DOCUMENT COMPANY IS REGISTERED TRADEMARK.